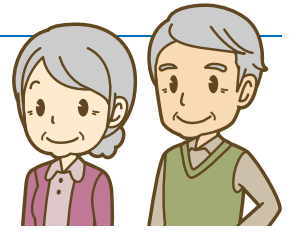


年金生活者支援給付金制度が始まります

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入や所得額が一定基準額以下の、年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。



- 対 象**
- 老齢基礎年金を受給している方で以下の要件をすべて満たしている方
 - ▷65歳以上である
 - ▷世帯員全員の市民税が非課税となっている
 - ▷年金収入額とその他所得額の合計が約88万円以下である
 - 障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方で、前年の所得額が約462万円（扶養親族により変動）以下の方

- 手続き**
- 平成31年4月1日以前から年金を受給している方
対象となる方には、日本年金機構から請求手続きの案内が9月上旬から順次発送されています。同封のがき（年金生活者支援給付金請求書）に記入し提出してください。
 - 平成31年4月2日以降に年金を受給しはじめた方
年金の請求手続きと併せて請求手続きをしてください。
 - 65歳以上で老齢基礎年金を受給している方のうち、平成31年4月2日以降に非課税世帯となり、年金収入額とその他所得額の合計が約88万円以下の方
年金事務所または市民課保険年金係で請求手続きをしてください。

『給付金専用ダイヤル』：0570-05-4092(ナビダイヤル)



日本年金機構や厚生労働省を装った不審な電話や案内にご注意ください。

問 市民課保険年金係（内線123）

10月は食品ロス削減月間

「食品ロス削減月間」は、まだ食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」の削減に関する理解と関心を深めるために設けられました。また、宴会の食べきり運動「30・10（さんまるいちまる）」にちなんで、10月30日は「食品ロス削減の日」とされました。



- ・食品ロス量は年間646万トン（農林水産省及び環境省の平成27年度推計）
食品関連事業者：約357万トン
（規格外品、返品、売れ残り、食べ残し）
- 一般家庭：約289万トン
（食べ残し、過剰除去、直接廃棄）

今日から実践！食品ロス削減

買いすぎない

- 出かける前に冷蔵庫の中身をチェック
- 必要な物だけを購入

食べきる、使いきる

- 食べきれぬ量を調理
- 食材は無駄なく使いきる

What's 30:10 ?

宴会における大量の食品ロスを減らすため

最初の

30

分

最後の

10

分

皆で食べる時間を設けましょう。それが30:10運動です。